



2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL <https://www.kakou-nisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 定時株主総会開催予定日 2023年11月29日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年8月期の連結業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	12,548	70.2	312	△12.8	416	5.0	1,523	885.1
2022年8月期	7,374	△2.1	358	△21.0	396	△24.9	154	△63.8

（注）包括利益 2023年8月期 1,532百万円（899.0%） 2022年8月期 153百万円（△64.6%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	234.33	232.76	14.6	2.3	2.5
2022年8月期	23.99	23.71	1.6	3.0	4.9

（参考）持分法投資損益 2023年8月期 ー百万円 2022年8月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	21,886	11,163	51.0	1,706.41
2022年8月期	14,482	9,727	66.8	1,495.47

（参考）自己資本 2023年8月期 11,161百万円 2022年8月期 9,672百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	668	△1,503	2,151	6,369
2022年8月期	△519	△673	550	5,052

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00	97	62.5	1.0
2023年8月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00	196	12.8	1.9
2024年8月期(予想)	ー	0.00	ー	30.00	30.00		66.5	

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,556	45.1	284	△14.9	289	△16.3	169	△90.1	25.84
通期	15,500	23.5	500	60.0	504	21.0	295	△80.6	45.10

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）ニッタイ工業株式会社、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P12「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年8月期	7,360,000株	2022年8月期	7,360,000株
2023年8月期	819,350株	2022年8月期	892,350株
2023年8月期	6,500,792株	2022年8月期	6,444,762株

(参考) 個別業績の概要

2023年8月期の個別業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	4,004	35.2	△110	—	242	321.5	124	108.8
2022年8月期	2,961	△27.3	△280	—	57	△86.1	59	△87.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期	19.13	19.00
2022年8月期	9.24	9.13

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
2023年8月期	14,342	64.4	9,237	81.3	1,411.84	1,415.36		
2022年8月期	11,257	81.3	9,209	81.3	1,415.36	1,415.36		

(参考) 自己資本 2023年8月期 9,234百万円 2022年8月期 9,154百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、当事業年度において、耐火パネルをはじめとした金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の販売が増加したことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。なお、経常利益及び当期純利益には子会社からの配当金270百万円が含まれております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
生産、受注及び販売の実績	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策の各種政策変更に伴い、個人消費活動や訪日客増加によるインバウンド需要に加えて、企業の設備投資活動も回復傾向をたどりましたが、一方で円安や資源高によるコスト増加圧力を懸念した慎重な動きもみられました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微であったものの、ウクライナ情勢等を受けた資源・エネルギー価格の高騰や急速に進んだ円安の影響もあり、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。

このような状況の中、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、主として金属加工事業において金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したことで、建設事業における電気工事及び内装工事の伸長や前連結会計年度にM&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績が通期にわたって寄与したこと、M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス、ニッタイ工業株式会社及び株式会社天神製作所の業績寄与等により、売上高は12,548百万円（前年同期比70.2%増）、営業利益は312百万円（同12.8%減）、経常利益は416百万円（同5.0%増）となりました。また、ニッタイ工業株式会社の子会社化に伴い特別利益（負のれん発生益）を1,535百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は1,523百万円（同885.1%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したこと、M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス及び株式会社天神製作所の業績寄与により、売上高は5,815百万円（前年同期比31.6%増）、セグメント利益は510百万円（同98.8%増）、当連結会計年度末における受注残高は3,052百万円（同148.5%増）となりました。

(ゴム加工事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定の受注を確保しましたが、売上高は1,089百万円（前年同期比2.4%減）、製造経費及び一般管理費の増加によりセグメント利益は195百万円（同24.5%減）、当連結会計年度末における受注残高は84百万円（同29.5%減）となりました。

(建設事業)

電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、前連結会計年度にM&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績が通期にわたって寄与したことにより、売上高は3,520百万円（前年同期比91.4%増）、セグメント利益は210百万円（同39.9%増）、当連結会計年度末における受注残高は2,295百万円（同18.0%減）となりました。

(タイル事業)

新商品及び自社湿式製品のPR活動に組み込み、一定の受注を確保しましたが、一時的に発生した修繕費等の影響により売上高は2,122百万円、セグメント損失は150百万円、当連結会計年度末における受注残高は1,358百万円となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△453百万円は、主として、子会社株式の取得関連費用△145百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円であります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は14,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,463百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により現金及び預金が1,537百万円、売掛金が650百万円、電子記録債権が576百万円、商品及び製品が1,048百万円、仕掛品が234百万円、原材料及び貯蔵品が208百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は7,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,940百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により建物及び構築物（純額）が609百万円、機械装置及び運搬具（純額）が590百万円、土地が1,776百万円、のれんが209百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の資産合計は21,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,404百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は5,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,209百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加により、支払手形及び買掛金が497百万円、短期借入金が1,450百万円、1年内返済予定の長期借入金が568百万円、未払法人税等が131百万円、流動負債のその他が462百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は5,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,758百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金

が1,916百万円、固定負債のその他が512百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は10,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,968百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は11,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,435百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は51.0%（前連結会計年度末は66.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,316百万円増加し6,369百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は668百万円（前年同期は519百万円の使用）となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益1,944百万円、減価償却費444百万円、未払消費税等の増加193百万円、その他の流動負債の増加247百万円であります。主な支出要因は、負ののれん発生益1,535百万円、棚卸資産の増加189百万円、仕入債務の減少117百万円、法人税等の支払額366百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,503百万円（前年同期は673百万円の使用）となりました。主な収入要因は、定期預金の純増額204百万円であります。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出377百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,318百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,151百万円（前年同期は550百万円の獲得）となりました。主な収入要因は、短期借入金の純増額1,450百万円、長期借入れによる収入1,800百万円であります。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出983百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
自己資本比率 (%)	62.5	76.3	78.9	66.8	51.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	42.7	35.6	38.4	24.9	27.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.0	0.4	0.8	—	10.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	116.9	507.8	283.7	—	22.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 2022年8月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

「第3次中期経営計画 “Challenge”」の最終年度にあたる2024年8月期におきましては、金属加工事業において、耐火パネルなどの金属サンドイッチパネルやオーダー加工品の受注が堅調に推移するほか、M&Aによりグループ化した株式会社ワタナベテクノス、ニッタイ工業株式会社及び株式会社天神製作所における3社の業績が通期にわたって寄与することから、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高15,500百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益500百万円（同60.0%増）、経常利益504百万円（同21.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益295百万円（同80.6%減）を予想しております。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753,467	7,291,401
受取手形	174,991	258,190
売掛金	1,471,531	2,121,668
契約資産	648,332	683,919
電子記録債権	419,905	996,387
リース債権及びリース投資資産	—	6,476
商品及び製品	143,015	1,191,927
仕掛品	238,302	472,370
未成工事支出金	20,644	76,215
原材料及び貯蔵品	501,504	709,676
その他	327,783	353,268
貸倒引当金	△5,119	△3,284
流動資産合計	9,694,358	14,158,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,423,325	6,230,319
減価償却累計額	△1,613,934	△3,811,654
建物及び構築物 (純額)	1,809,391	2,418,664
機械装置及び運搬具	5,156,883	7,309,765
減価償却累計額	△4,399,480	△5,962,245
機械装置及び運搬具 (純額)	757,403	1,347,520
土地	954,521	2,731,415
リース資産	109,875	96,511
減価償却累計額	△69,432	△51,900
リース資産 (純額)	40,443	44,611
建設仮勘定	660,000	99,773
その他	480,629	775,459
減価償却累計額	△431,064	△704,756
その他 (純額)	49,564	70,703
有形固定資産合計	4,271,323	6,712,688
無形固定資産		
のれん	237,533	447,331
その他	70,748	103,014
無形固定資産合計	308,282	550,346
投資その他の資産		
投資有価証券	43,378	99,367
リース債権及びリース投資資産	—	81,034
繰延税金資産	79,338	73,376
その他	85,450	211,413
投資その他の資産合計	208,167	465,192
固定資産合計	4,787,773	7,728,226
資産合計	14,482,132	21,886,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,687	773,603
工事未払金	301,915	142,341
契約負債	5,768	162,382
短期借入金	500,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	522,791	1,091,146
リース債務	15,699	14,144
未払法人税等	169,858	301,575
賞与引当金	40,944	130,419
工事損失引当金	—	14,825
その他	431,422	893,568
流動負債合計	2,264,088	5,474,005
固定負債		
長期借入金	2,065,020	3,981,526
リース債務	27,982	34,724
繰延税金負債	—	192,632
退職給付に係る負債	156,915	155,036
資産除去債務	101,362	232,890
その他	138,774	651,698
固定負債合計	2,490,055	5,248,508
負債合計	4,754,143	10,722,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,113,015	9,533,978
自己株式	△713,003	△654,674
株主資本合計	9,673,948	11,153,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,784	7,790
その他の包括利益累計額合計	△1,784	7,790
新株予約権	55,825	2,900
純資産合計	9,727,988	11,163,929
負債純資産合計	14,482,132	21,886,443

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	7,374,639	12,548,788
売上原価	5,712,098	9,854,195
売上総利益	1,662,541	2,694,592
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	182,652	437,413
役員報酬	207,445	254,455
給料及び手当	341,597	544,435
賞与	43,166	45,884
賞与引当金繰入額	4,360	68,354
退職給付費用	10,839	12,744
貸倒引当金繰入額	795	926
研究開発費	10,288	20,400
その他	502,781	997,396
販売費及び一般管理費合計	1,303,925	2,382,011
営業利益	358,615	312,580
営業外収益		
受取利息	113	189
受取配当金	2,092	2,915
匿名組合投資利益	18,937	—
売電収入	1,841	17,724
補助金収入	17,001	77,975
その他	12,459	42,323
営業外収益合計	52,447	141,129
営業外費用		
支払利息	12,403	29,834
その他	1,898	7,421
営業外費用合計	14,302	37,255
経常利益	396,760	416,454
特別利益		
固定資産売却益	9	429
負ののれん発生益	—	1,535,686
投資有価証券売却益	—	1,440
特別利益合計	9	1,537,556
特別損失		
固定資産売却損	30	222
固定資産除却損	8,154	3,620
投資有価証券売却損	16	2,473
減損損失	20,888	2,694
特別損失合計	29,089	9,011
税金等調整前当期純利益	367,680	1,944,999
法人税、住民税及び事業税	231,132	266,539
法人税等調整額	△18,084	155,152
法人税等合計	213,048	421,691
当期純利益	154,632	1,523,307
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	154,632	1,523,307

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純利益	154,632	1,523,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,190	9,575
その他の包括利益合計	△1,190	9,575
包括利益	153,441	1,532,882
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	153,441	1,532,882
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,176,968	1,096,968	8,122,139	△747,361	9,648,714
会計方針の変更による累積的影響額			—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,176,968	1,096,968	8,122,139	△747,361	9,648,714
当期変動額					
剰余金の配当			△160,616		△160,616
親会社株主に帰属する当期純利益			154,632		154,632
自己株式の処分		△3,139		34,357	31,218
利益剰余金から資本剰余金への振替		3,139	△3,139		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△9,123	34,357	25,234
当期末残高	1,176,968	1,096,968	8,113,015	△713,003	9,673,948

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△594	△594	87,000	9,735,120
会計方針の変更による累積的影響額				—
会計方針の変更を反映した当期首残高	△594	△594	87,000	9,735,120
当期変動額				
剰余金の配当				△160,616
親会社株主に帰属する当期純利益				154,632
自己株式の処分			△31,175	43
利益剰余金から資本剰余金への振替				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,190	△1,190		△1,190
当期変動額合計	△1,190	△1,190	△31,175	△7,131
当期末残高	△1,784	△1,784	55,825	9,727,988

当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,176,968	1,096,968	8,113,015	△713,003	9,673,948
当期変動額					
剰余金の配当			△97,014		△97,014
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,523,307		1,523,307
自己株式の処分		△5,330		58,328	52,998
利益剰余金から資本剰 余金への振替		5,330	△5,330		—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,420,962	58,328	1,479,290
当期末残高	1,176,968	1,096,968	9,533,978	△654,674	11,153,239

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△1,784	△1,784	55,825	9,727,988
当期変動額				
剰余金の配当				△97,014
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,523,307
自己株式の処分			△52,925	73
利益剰余金から資本剰 余金への振替				—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	9,575	9,575		9,575
当期変動額合計	9,575	9,575	△52,925	1,435,940
当期末残高	7,790	7,790	2,900	11,163,929

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	367,680	1,944,999
減価償却費	362,296	444,361
減損損失	20,888	2,694
のれん償却額	26,292	49,759
負ののれん発生益	—	△1,535,686
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,928	△1,834
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,810	△651
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,140	△1,879
受取利息及び受取配当金	△2,206	△3,105
補助金収入	△17,001	△77,975
支払利息	12,403	29,834
投資有価証券売却損益 (△は益)	16	1,033
有形固定資産売却損益 (△は益)	21	△206
固定資産除却損	8,154	3,620
売上債権の増減額 (△は増加)	△650,549	△35,758
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△195,433	△189,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	166,898	△117,636
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△192,349	193,883
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△299,999	247,752
その他	35,648	29,923
小計	△336,216	983,361
利息及び配当金の受取額	2,206	3,105
補助金の受取額	17,001	77,975
利息の支払額	△12,353	△29,806
法人税等の支払額	△189,791	△366,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	△519,153	668,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	380,175	204,924
有形固定資産の取得による支出	△1,250,951	△377,133
有形固定資産の売却による収入	1,559	430
無形固定資産の取得による支出	△38,851	△39,760
投資有価証券の取得による支出	△645	△672
投資有価証券の売却による収入	760	17,538
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,318,248
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	246,836	—
その他	△12,469	9,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673,585	△1,503,483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△437,472	1,450,000
長期借入れによる収入	2,350,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△926,789	△983,157
社債の償還による支出	△260,000	—
自己株式の売却による収入	43	73
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△378
リース債務の返済による支出	△15,284	△17,287
配当金の支払額	△160,324	△97,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	550,172	2,151,568
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△642,565	1,316,185
現金及び現金同等物の期首残高	5,695,456	5,052,891
現金及び現金同等物の期末残高	5,052,891	6,369,076

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「金属加工事業」、「ゴム加工事業」、「建設事業」及び「タイル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「金属加工事業」は、太陽電池アレイ支持架台、金属サンドイッチパネル、空調用ダンパー他金属加工製品の企画、設計、加工、販売の事業であります。

「ゴム加工事業」は、住宅、機械、公共インフラ設備等に使用するゴム製品の企画、設計、加工、販売の事業であります。

「建設事業」は、上記事業に付随する建設事業であります。

「タイル事業」は、住宅・ビル外装タイル、内装タイル等の企画、設計、製造、販売の事業であります。

(報告セグメントの変更に関する事項)

当社グループは、ニッタイ工業株式会社を子会社化したことに伴い、当連結会計年度より新たに「タイル事業」を報告セグメントに追加しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639	—	7,374,639
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639	—	7,374,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,383	1,619	—	68,002	△68,002	—
計	4,484,871	1,118,381	1,839,389	7,442,642	△68,002	7,374,639
セグメント利益	256,703	259,146	150,668	666,518	△307,902	358,615
セグメント資産	6,678,888	976,269	2,033,582	9,688,739	4,793,392	14,482,132
その他の項目						
減価償却費	317,455	14,069	1,683	333,208	29,088	362,296
のれん償却額	11,258	—	15,033	26,292	—	26,292
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,258,414	1,040	865	1,260,320	49,159	1,309,479

- (注) 1. セグメント利益の調整額△307,902千円は、セグメント間取引消去27,383千円、子会社株式の取得関連費用△28,161千円及び、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,124千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額4,793,392千円は、セグメント間債権債務等消去△41,803千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,835,195千円であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイヤ事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,735,522	1,089,743	3,520,589	2,122,656	12,468,512	—	12,468,512
その他の収益	80,276	—	—	—	80,276	—	80,276
外部顧客への売上高	5,815,798	1,089,743	3,520,589	2,122,656	12,548,788	—	12,548,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	325,938	4,252	14,760	40	344,991	△344,991	—
計	6,141,737	1,093,996	3,535,349	2,122,697	12,893,780	△344,991	12,548,788
セグメント利益	510,305	195,576	210,746	△150,734	765,894	△453,313	312,580
セグメント資産	9,537,241	1,016,107	1,872,748	5,485,153	17,911,251	3,975,191	21,886,443
その他の項目							
減価償却費	365,121	13,093	7,448	28,047	413,711	30,649	444,361
のれん償却額	13,678	—	36,081	—	49,759	—	49,759
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	324,030	44,339	5,062	27,873	401,306	—	401,306

- (注) 1. セグメント利益の調整額△453,313千円は、セグメント間取引消去22,326千円、子会社株式の取得関連費用△145,320千円及び、各報告セグメントに配分していない全社費用△330,319千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額3,975,191千円は、セグメント間債権債務等消去△32,946千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,008,138千円であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	合計
外部顧客への売上高	4,418,487	1,116,762	1,839,389	7,374,639

2. 地域ごとの情報

- (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

- (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイル事業	合 計
外部顧客への売上高	5,815,798	1,089,743	3,520,589	2,122,656	12,548,788

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
減損損失	—	—	20,888	—	20,888

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイル事業	全社・消去	合 計
減損損失	—	—	2,694	—	—	2,694

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	全社・消去	合 計
当期償却額	11,258	—	15,033	—	26,292
当期末残高	—	—	237,533	—	237,533

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	タイル事業	全社・消去	合 計
当期償却額	13,678	—	36,081	—	—	49,759
当期末残高	245,878	—	201,452	—	—	447,331

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工事業」セグメントにおいて、株式会社天神製作所を子会社化したことに伴い、のれんの金額が増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、251,110千円であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

「タイル事業」セグメントにおいて、ニッタイ工業株式会社を子会社化したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、1,535,686千円であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	1,495.47円	1,706.41円
1株当たり当期純利益	23.99円	234.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	23.71円	232.76円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	154,632	1,523,307
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	154,632	1,523,307
普通株式の期中平均株式数(株)	6,444,762	6,500,792
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	76,877	43,791
(うち新株予約権(株))	(76,877)	(43,791)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2023年9月14日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

当社グループは、グループ経営理念である「日々創造」のもと、グループミッションとして「価値の創造」、グループビジョンとして「加工の総合商社」を掲げ、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループの形成を目指しております。この方針のもと、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現策のひとつとして、カナエテ株式会社を設立し、ものづくりWEBサービス「カナエテ」を立ち上げました。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|--------|--------------------------|
| ①名称 | カナエテ株式会社 |
| ②代表者 | 代表取締役 石田 徹 |
| ③所在地 | 福岡県福岡市南区向野2-10-25 |
| ④事業の内容 | オーダー製品を中心としたものづくりWEBサービス |
| ⑤資本金 | 50百万円 |
| ⑥設立の時期 | 2023年10月2日 |
| ⑦出資比率 | 当社100% |

3. 今後の見通し

当該子会社は連結対象の子会社となり、その影響を織り込んだ2024年8月期の連結業績予想を公表しております。

(自己株式の消却)

当社は、2023年10月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

1. 自己株式の消却を行う理由

発行済株式数の減少による資本効率の向上を図るために消却いたします。

2. 消却に係る事項の内容

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ①消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ②消却する株式の数 | 560,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 7.6%) |
| ③消却予定日 | 2023年10月27日 |

4. その他

生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	4,385,044	130.8
ゴム加工事業	571,684	106.4
タイル事業	471,296	—
合計	5,428,025	139.6

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

② 受注実績

当連結会計年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	7,192,574	168.8	3,052,720	248.5
ゴム加工事業	1,054,161	93.0	84,052	70.5
建設事業	3,017,188	87.2	2,295,625	82.0
タイル事業	2,284,139	—	1,358,914	—
合計	13,548,064	153.0	6,791,312	163.7

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	5,815,798	131.6
ゴム加工事業	1,089,743	97.6
建設事業	3,520,589	191.4
タイル事業	2,122,656	—
合計	12,548,788	170.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 最近2連結会計年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)		当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社大林組	—	—	1,480,176	11.8

前連結会計年度の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。